Kurume University Medical Center
久留米大学医療センター

# News

2015.1
No.028

平成27年1月5日 大ホールにおいて。

## 私たちの理念

心が通い、信頼される医療

## 私たちのめざす医療

1. 皆さまの権利とプライバシーを尊重します。
2. 充分な説明と同意のもとに、最新かつ安全なチーム医療を行います。
3. 地域に開かれた病院として、健康と福祉の向上に努めます。
4. 確かな医療技術と豊かな人間性を備えた医療人を育てます。

Kurume University Medical Center
久留米大学医療センター
〒839-0863 福岡県久留米市国分町 155-1
0942-22-6111(代)
http://iryo.kurume-u.ac.jp

## Contents

新年のご挨拶
久留米大学医療センターに着任して
認定看護師のご紹介
各種全体研修会の取り組みについて
院内コンサートが行われました

# 新年のご挨拶

## 医療センター・新体制のご挨拶

病院長　**樋口 富士男**

お正月のNHKスペシャルで、2015年は寿命革命の年、人間の寿命が大きく延び、2045年には平均寿命が100歳になるとのことで驚きましたが、今後社会も医療も大きく変わるようです。我々も注目し、変わるべきことは変わらなくてはなりません。

昨年は久留米大学の機能分化の話が起こり、今年から医療センターの診療体制が大きく変わることとなりました。現時点でわかることは、以下の通りです。

1. 内分泌代謝内科の廣松雄治教授の診療が、1月より始まりました。
2. 整形外科・関節外科センターは、これまでの診療に加えスポーツ外傷など、上肢・下肢全体の関節の診療が、4月より始まります。
3. フットケア外来（仮称）が4月より始まります。
4. 外科の診療は、4月より久留米大学病院に移ります。
5. 小児科の診療は現在5人体制ですが、4月より2人が大学へ移動し3人体制になります。
6. 眼科は、4月より週二日（午前中）のみの診療になります。
7. 婦人科の診療は、3月末で終了いたします。

ご不明な点は、診療科にお尋ねください。いろいろご迷惑をおかけすると思いますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

## 医療センターの未来に光を

看護部長　**猿渡 祐子**

新年おめでとうございます。皆様のおかげで今年も無事に新しい年を迎えることができました。

ご承知の通り昨年秋より、大学病院と医療センターの機能分化について話し合いが進んでいます。患者さんや地域のみなさんにご迷惑がかからないように検討を重ねていますが、4月から外来を閉じる診療科もあり、不安は隠せません。

そのような時、ふと手にしたコラムの中にこんな記事を見つけました。

「“Every cloud has a silver lining（空を暗い雲が覆っても、その雲には銀色の縁取り―向こう側に光が必ずある）”。どんな気落ちする体験も、絶対にプラスの意味が内包されている」と言う文章に励まされました。難問は山積していますが、今回の機能分化が、大学病院と医療センターの未来に光をもたらし、地域の皆様にも貢献できることを信じています。

今年は攻めに転じ、一日も早く明るい話題を共有できるよう、職員一丸となって取り組んで参りたいと思っております。今年も宜しくお願い申し上げます。

## 医療センターだからこそできる診療体制

事務部長　**高木 正三**

ご承知のとおり、久留米大学医学部には久留米大学病院と久留米大学医療センターの2つの附属病院があります。

久留米大学では、人口推計を視野に入れた医療行政の動向、地域医療サービスのための効率的な病院経営のあり方などを念頭に置き、総合的かつ慎重な検討を重ねてきた結果、平成26年11月に大学病院の病床を69床削減し1,025床にしました。また、大学病院と医療センターとの機能分化（分担）等の推進により、平成27年4月から医療センターの診療体制が大きく変わります。

目指す目標へは今日という日がつながっています。現在、「医療センターでしかできない、医療センターだからこそできる診療体制」に向けて医療センターの全てのスタッフは、粛々と準備を進めているところです。

いくつかの診療科では、患者さんやご紹介いただいている先生方にご不便やご迷惑をおかけすることになり大変恐縮です。

引き続き皆さまのご理解とご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

## 久留米大学医療センターに着任して

医療センター内分泌代謝内科　教授　**廣松 雄治**

新年あけましておめでとうございます。
昨年の11月に久留米大学医療センターに着任いたしました内分泌代謝内科の廣松雄治と申します。本年1月から外来診療を開始しています。これまで30年間、久留米大学病院で、甲状腺疾患を中心とした内分泌疾患や糖尿病の診療・研究を行ってまいりました。今後は医療センターで甲状腺センターの設立に向けて尽力する所存です。

昨年の忘年会には職員の皆様のエネルギーを目の当たりにし、先日の連休には小児科の先生を中心に職員の皆様がインフルエンザの患者の診療をされているのを拝見し、医療センターでは「心の通う医療」を日々実践されていると実感いたしました。この度医療センターの一員として、皆さんと一緒に働く機会を得ましたことを大変嬉しく思っています。

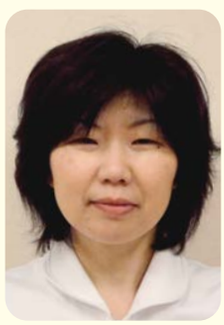
今年は「乙未」年とのことで医療センターにとっても転換期であり、大きな変革の始まりとなります。乙は新しい芽がでようと曲がりくねった苦悩が予想されるが、奮起し克服する年となるとのことです。未は未来の発展、成長が得られ、安泰、平和な年に向かうと考えられています。

今後は内分泌疾患の診療だけでなく、医療センターで働く皆様とともに、「次世代医療センター」とその将来を担う若い医療スタッフの育成にも尽力したいと考えていますので、どうぞよろしくお願い致します。

## 認定看護師のご紹介

### 患者家族がより豊かな人生を送ることができるように

緩和ケア認定看護師　外来　**丹藤 真弓**



生命を脅かす病気を患った患者さんとご家族の苦痛を緩和し、QOLを改善する取り組みとして「緩和ケア」の重要性が広く理解されつつあります。私たち、緩和ケア認定看護師の専門分野は、トータルペインといわれる身体症状（痛み・倦怠感・呼吸困難感・消化器症状・口腔内トラブル・浮腫等）や精神症状（不安・せん妄・悲嘆・うつ等）の症状緩和、社会的・スピリチュアルな問題への対応、そしてご家族のケアと退院・在宅支援などです。

現在、私は外来に所属しながら院内を横断的に活動しています。依頼があれば病棟に出向き、症状アセスメントやご家族への対応についてのコンサルテーションや精神的ケアのカウンセリングなど実践しています。教育面での学習会企画では、リハビリテーション室からも依頼を受け、チーム医療としての緩和ケアも浸透しつつあるのではと嬉しく感じています。

外来で働くようになり、在宅療養や、近年のがん治療の進歩に伴い治療を継続しながら生活をされる患者さん、ご家族への支援の重要性を実感しています。緩和ケアの意義「つらさを和らげる」という考え方を、診断されて間のない時期から取りいれることで、つらい症状を緩和しながら日々を送ることができます。スタッフとともに、痛みや吐き気、食欲不振、だるさ、気分の落ち込み、孤独感を軽くすること、自分らしさを保つことや、生活のスタイルの確保など医学的な側面に限らず、幅広い対応をしています。

今後も、共に働く多職種スタッフの協力を頂きながら、「緩和ケアに対する感受性を高め、患者・家族に質の高い看護を提供する。」を目標に活動していきます。リソースナース会主催の看護塾も開催しています。ぜひ参加してみてください。お困りのことがありましたらご相談ください。よろしくお願い致します。

医療センター看護塾の様子

# 各種全体研修会の取り組みについて

当院では年間を通して様々な全体研修会を行っております。
これらの活動は個々の能力や意識の向上・見識を養うこと・日頃の活動の成果を披露することだけでなく、
他部署・異業種間との交流、患者サービスの向上など様々な目的のもと多くの学ぶ機会を設けております。

## 平成26年度における主な全体研修会及び活動

### 医療安全対策研修会

《 主催　医療安全委員会 》

| | |
|---|---|
| 6/11 | 職員が知っておきたい医療安全の基礎知識 |
| 7/31 | KYT 研修「どこでも起きる患者誤認」 |
| 8/20 | 人工呼吸器関連レクチャー |
| 10/31 | 医療安全報告会「こんな取組をしています（前）」 |
| 11/13 | 医療安全報告会「こんな取組をしています（後）」 |
| 12/8 | AED・除細動器安全講習会 |
| 1/29 | 「職員の防犯意識を高めましょう」<br>◇ 講師　久留米警察署生活安全課 |
| 2/19 | 「未定」 |

KYT 研修「どこでも起きる患者誤認」

AED・除細動器安全講習会

### 院内感染対策研修会

《 主催　感染対策委員会 》

| | |
|---|---|
| 6/11 | 職員が知っておきたい感染対策の基礎知識 |
| 6/19 | 「環境整備、正しく行えていますか？」<br>「院内感染対策における看護職者の環境整備の実際と必要性の認識」 |
| 9/1 | 「正しい検査結果を導くために」<br>「指定抗菌薬使用届の現状と今後の課題について」 |
| 10/31 | 感染対策報告会（各部署より） |
| 11/17 | 「予防的抗菌薬投与について」<br>「流行性ウイルス性疾患について」 |
| 1/15 | 「ノロウイルスについて」 |

「環境整備、正しく行えていますか？」

### 看護部研修会

《 主催　看護部 》

| | |
|---|---|
| 7/17 | 「看護師のメンタルヘルスケア対策<br>～あさひさん 相談室へ行く～」 |
| 9/24 | SWN（スゴ技ナース）研修 |
| 9/30 | 「慢性心不全患者の緩和ケアを考える」 |

「ノロウイルスについて」実演の様子

### その他

| | |
|---|---|
| 6/25 | 市民公開講座（医療センター20周年記念行事実行委員会）<br>「ロコモティブシンドロームって何？<br>－整形外科とリハビリテーションの大切さを知る－」<br>「関節に求められる手術による治療法<br>～あなたは手術をうけますか～」 |
| 7/11 | MRI磁場体験研修会（画像センター） |
| 7/22 | クリニカルパス大会（質の向上委員会） |
| 10/20 | 「抗がん剤の安全な取り扱い」（化学療法委員会） |
| 12/12 | 「アルブミンについて」（NST運営委員会、褥瘡予防対策委員会） |

市民公開講座「ロコモティブシンドロームって何？
－整形外科とリハビリテーションの大切さを知る－」

# 院内コンサートが行われました

## 12月13日（土曜）院内コンサート

昨年、12月13日（土曜）院内コンサートがエントランスホールにて開催されました。今回ご協力いただいたのは、女声合唱団「コール・タンポポ」の皆さんです。エントランスホールに響きわたるこの時期のクリスマスソングは、今となっては当院の冬の風物詩になってきているのではないかと思います。

指揮者　猪口先生

## 多くの方にご参加いただきました

開演時刻になったころには既に多くの入院患者さんやそのご家族の方でホールがいっぱいになりました。およそ40分間にわたり「ジングルベル」「きよしこの夜」などの定番のクリスマスソングから「川の流れのように」「ふるさと」などの懐メロソングの合唱を披露して頂き、なかでも「となりのトトロ」はオリジナルの楽しいアレンジが加えられ会場は大いに盛り上がりをみせていました。短いひと時でしたが、美しい歌声の合唱に多くの方が心癒されたのではないでしょうか。

多くの方にご参加いただきました

## ありがとうございました

年末のお忙しい中、指揮の猪口先生や伴奏の宮田先生を初め、「コール・タンポポ」の皆さんのご厚意とご協力があって実現することができました。本当にありがとうございます。また、準備や片付けなどのボランティアとして参加して下さった方々、ご協力いただいた皆様に心より感謝いたします。

女声合唱団♪

## 『コール・タンポポ』のご紹介

1978年PTAコーラスとして発足し、昨年結成35年目を迎えられました。これまでに全国大会を含め多数のコンサートに出場、また主催され、2014年1月には世界的に有名な交響楽団ウィーンフィルの本拠地であるウィーン楽友協会大ホールにて合唱されました。

現在40代から70代までの総勢36名の団員で構成されており、猪口先生（指揮）・宮田先生（ピアノ）と共に活動されています。歌を愛し、歌に癒されながら、歌う喜びの輪を広げて今後のますますのご活躍が期待されます。

# 外来診療一覧

平成27年1月1日現在
医　局

| 診療科名 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|
| 一般内科 | 満崎健志 | 髙瀬文敬 | 前田詔子 | 井手元晶子 | 久賀征一郎 |
| 呼吸器科（午後） | | | | | 松本久美 |
| 消化器内科 | 杉山元<br>久賀征一郎 | 坂田雅浩 | 杉山元 | 担当医 | 坂田雅浩<br>久賀征一郎 |
| 循環器内科 | 池田久雄<br>加藤宏司<br>原田晴仁 | 池田久雄<br>新山寛<br>髙瀬文敬 | 池田久雄<br>加藤宏司<br>前田詔子 | 原田晴仁<br>新山寛<br>髙瀬文敬 | 加藤宏司<br>原田晴仁<br>前田詔子 |
| (生活習慣病)＊要予約<br>禁煙外来　月･火 | 池田久雄<br>（午後） | 池田久雄<br>（午後） | 池田久雄<br>（午後） | | |
| 内分泌代謝内科 | 廣松雄治<br>満崎健志 | 廣松雄治<br>満崎健志 | 廣松雄治 | 廣松雄治<br>満崎健志 | 満崎健志 |
| 精神科 | 山田英孝 | 山田英孝<br>（午前） | | | 山田英孝 |
| （もの忘れ外来）<br>（予約制） | | 山田英孝<br>（午後 初診） | | 山田英孝<br>（午前・午後　再診） | |
| 小児科 | 大津寧<br>田中聡子 | 牛島高介<br>大津寧 | 大津寧<br>田中征治 | 牛島高介<br>田中聡子 | 大津寧 |
| （専門外来） | 腎臓 | 腎臓<br>内分泌 | 腎臓 | 消化器・肝臓 | 腎臓<br>小児成人病 |
| 外科<br>（午前） | 緒方裕<br>亀井英樹 | 内田信治 | 山口圭三<br>中山剛一 | 緒方裕<br>藤田博正 | 内田信治<br>山口圭三 |
| （午後） | | 平川浩明 | 中山剛一 | 亀井英樹<br>藤田博正<br>(午後のみで予約制) | 谷川雅彦 |
| （乳腺外来） | | | 矢原敏郎 | | |
| 病理診断外来 | | 山口倫 | | | |
| 整形外科・<br>関節外来センター<br>（午前） | 樋口富士男<br>吉光一浩 | 大川孝浩<br>瓜生拓也<br>白地功 | 樋口富士男<br>後藤昌史<br>白地功 | 大川孝浩<br>瓜生拓也<br>鈴木康一<br>（予約のみ） | 樋口富士男<br>吉光一浩<br>瓜生拓也 |
| (午後・予約紹介のみ) | | 後藤昌史<br>(14:00～16:00で専門外来のみ)<br>井上明生<br>（第1のみ） | | 大川孝浩<br>(第1、3の午後のみで予約制)<br>後藤昌史<br>(14:00～16:00で専門外来のみ)<br>稗田寛<br>（第2） | |
| リウマチ・<br>膠原病センター | 井手元晶子<br>福田孝昭 | 弓削健太郎<br>福田孝昭 | 竹尾正彰<br>鮎川竜祐 | 弓削健太郎<br>福田孝昭 | 竹尾正彰<br>福田孝昭 |
| リハビリテーション科 | 名護健 | 荻野美佐<br>志波直人<br>(第1火曜の午後のみで予約制) | 柳東次郎<br>（第1、3）<br>馬場敦子<br>（第2、4）<br>田中順子<br>（第5） | 田中順子 | 名護健 |
| 泌尿器科 | 林篤正<br>黒川慎一郎<br>(再診・予約のみ) | 黒川慎一郎 | 野口正典<br>黒川慎一郎 | 林篤正 | 林篤正<br>黒川慎一郎<br>(再診・予約のみ) |
| 皮膚科 | 十亀良介 | 十亀良介 | 十亀良介 | 十亀良介 | 十亀良介 |
| 婦人科 | (大学病院代診医) | | | | 野々下晃子 |
| 眼科 | 渡邉志穂<br>一般　午前のみ<br>（完全予約制） | | 渡邉志穂<br>斜弱視外来　午前・午後<br>（完全予約制） | 渡邉志穂<br>一般　午前のみ<br>（完全予約制） | |
| 放射線科 | 内田政史 | （画像診断） | | | |
| がんワクチン | | 伊東恭悟<br>野口正典 | 由谷茂<br>末金茂高<br>室屋大輔 | 由谷茂<br>野口正典<br>守屋普久子<br>白濵貴久 | 伊東恭悟<br>由谷茂<br>内藤雅康<br>坂本信二郎 |
| 先進漢方治療 | 恵紙英昭<br>(午前・午後の予約制) | 藤本剛史<br>（午前のみ） | 恵紙英昭<br>(午前・第1、3、5の午後で予約制)<br>沈龍佑<br>(第1、3、5の午後のみ) | 八木実<br>（午前のみ） | 恵紙英昭<br>(午前のみで、予約制) |

受付時間：午前8時30分～午前11時　診療日：月～金　麻酔科：術前診療のみ（予約制）　休診日：土・日・祭日・年末年始・盆休(8／15)

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。新年のご挨拶にありますように、久留米大学医療センターは４月から大きく診療内容が変わります。患者さんやそのご家族、ご紹介の先生方にご不便やご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、久留米大学として大学病院と一体でより良き医療をめざすためですので、なにとぞご容赦下さい。

（放射線科　内田）

◎企画・発行／久留米大学医療センター　◎編集／久留米大学医療センター広報誌委員会